

# 第43回例会

1

# グループ

[ 現状、地域での関わり ]

- ・地域に関わる機会がなかった  
ITアマネで、困難ケースの相談だけ、  
サービスだけで支えきれないこともある
- ・隣が女性の独居、音段聞いているカーテン  
が閉じた状態で声掛けを行った、  
長年住んでいる女性は地域の事を  
よく知っている、仕事を辞めて関わりたがっていた、
- ・災害を体験している人は、つながりが強くなる、  
その大切にも気づく、
- ・若手又は地元の人が少ない、車いす者が多く、ついで希望  
退職後に地域でのつながりが持てるようになる  
車に頼る住宅が多く、地域差がある、
- ・近所付き合いをしていない、高齢者多い、仕事の中で利用者と  
話をする事が多いが、話したいという思いを感じる、
- ・町内会の行事参加は自分自身行っていない、
- ・人の集まる場をみながら見つけていければいいと仕事している
- ・仕事があり、時間を取れないので、地域行事参加難しい、
- ・町内会 役員が限られてくる(全体的に高齢になり)

[ 仕事をしながらでも、どのように地域に関われるか ]

- ・町内会に入ったとしても役割りははかせないと思うと入会できない、
- ・班長も ~~仕事~~ 役割が重なり、大変な時期もある  
(会費集め等)
- ・近隣の福祉施設の手伝いはしてみたい、
- ・ボランティア参加は自分の都合に合わせて参加も可能
- ・町内会の集まりで、困っている人の相談ができれば、その場づくり課題
- ・道路一つ向うでも別の班になるので、関わりはできる、  
ほかに隣近所のみならず、それ以外あいつ程度

<

話題

・地域に関わり 個人として、職業としてどうにか

・町内会に入るかどうか? -

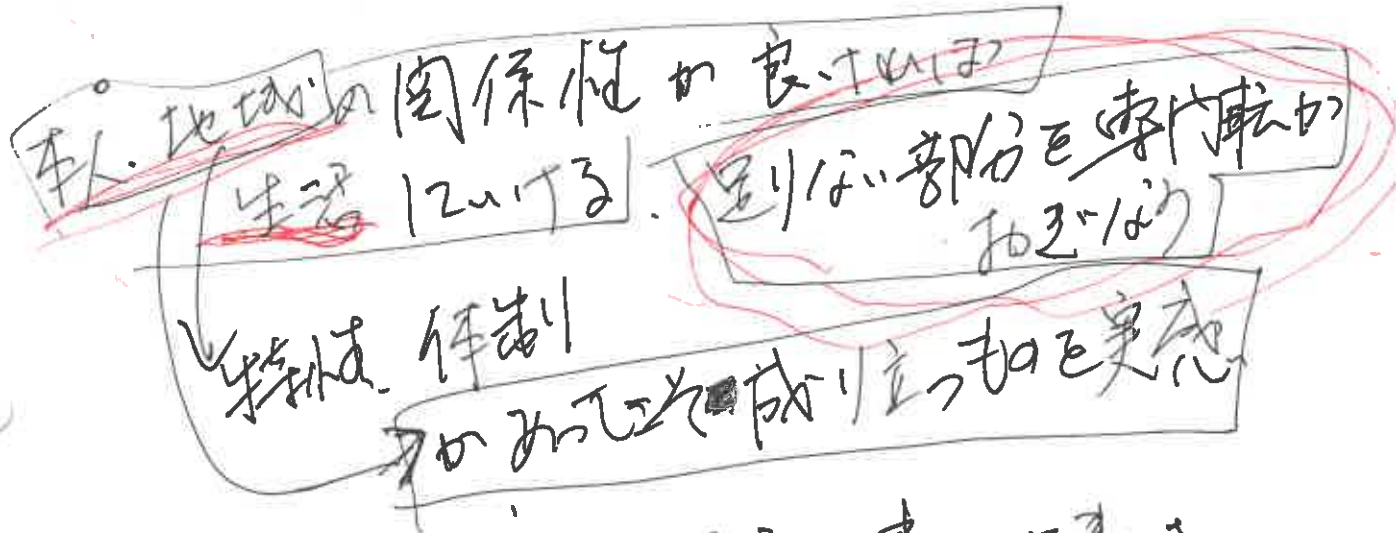


※ 気付いた事

・ 地域を巻き込むという言葉を使うと  
うまいか、悪いといふ事

・ 言葉 上から目線は良くない  
専ら取組む事と理解に注力

・ (同じ目的とすう事の大事さが  
難しい)



・ 地域 みんなで見守る事の大事さ

・ 地域との連携

住民も一員であるので連携に  
(近隣) 暮らして行く事の大事!

※ 専ら取組むことと併せていく事のいいか  
・ 利用者 家族 介護 施設 住んでる(隣の方との  
コネクション) 一緒に支えていく事

・ 社協との連携が必要

・ 社協の事を知り 情報交換し相談する

※ 今から取り組める事 今後取り込みたい事

窓口の見え方 (どこに相談していいかわかるか)  
(オンラインと臨機応変に対応に注力)

周知の工夫 (精神的なサポート)

(高齢者だけでなく) すべての人等に

地域での大事

暮らしやすい町を築いて - 若い人達も持てる? 希望・夢を持つこと

第43回例会

4 グループ

① ~~学ぶこと、気づきこと~~

- ・ 自分の立場からも受け身をたたく
- ・ いきいきボランティア → 地域の方と関わる。  
関係づくりをすることで、信頼がゆいを得る。
- ・ 信頼されるCMを目指すには、定期のほうもんだけでなく、積極的な関わりをすることで気づきが早い。(苦問をぶらすなど)
- ・ 間口を広げる。(仕事の業務だけで精一杯)  
地域に目を向ける。
- ・ 専門職 → 地域住民への伝え方  
わかりやすい話し方を考える
- ・ 目に見える形には、時間がかかる。  
色んな相談を受けれる関係作り  
機関の役割りから外れたこととすること  
大切では?
- ・ 町内会の力が弱くなっているのでは  
ないか。

- 高齢の方多くなった。
- ・ 婦人部がなくなった。
- ・ 町内会に入っていない人も多くなった。

理由

- 自分から町内会に入っていく。
- | 住民として町内会に入っていく。

地域サロンに顔を出す → 間接的に関わる。  
点と点がつながるようにしている。  
みんながみんな地域と全がつながってないわけでは  
ない。

- ↓ CMの情報としてない ※市役所、包括からの  
情報発信
- ・ 地域のやってみることに興味をもつ。
- ・ フォーマルなところ、インフォーマルなところ  
をみていく。
- ・ 社協、地域包括支援センターに相談することで  
何が必要なのか 吸いあげることができる。
- ・ 情報を足どかせぐ。発信は必要だが。

(社協 (包括からの立場から))

地域

# 第43回例会

5

# グループ

~講演を聞いて~

- ・住民、地域の方との交流や介入が少ない。
- ・民生委員や地域の方を協働して頂き、プラン介入して頂く。
- ・事業者のグループが、クライアントを支えるためには、地域のコミュニティが大切となり、支援フローが重要になると思う。(しいかば町は、地域ケアが進みコミュニティとつながっている)
- ・障害(認知症、精神)を支えるためには、視点の違いを持ち、地域で障害を持っている方のフローをより平べ大切である。
- ・認知の進行で、独居で生活している方がサ-ビス介入が出来る一歩、地域の方のフローをやって頂いて、民生委員の方の介入でその方の介入をしていて、CMとしても、助かっている。
- ・住民を巻き込む事が大切になる。高齢化住宅が多い地域では、なかなか介入がむずかしくなっている。
- ・現在では、隣どうしの付き合いが少なくなっている。
- ・集まりは、なかなか参加出来ていない。
- ・またサ-ビスやグループホームなどで、地域の方を集まる場を作り、進んでいる事業所もある。

専向職として、~

- ・民生委員としての役割、関係作りを行い、~~顔のみ~~顔のみを地域ケア作りをしていく必要がある。
- ・地域の方に対して受け身となり、何かし、かけか、あ、て介入していただく、自分アプロ-チかいていく必要がある。
- ・包括の方と民生委員の方との交流の場はあきか、個人情報面でうまく連携が取れな、現状がある。
- ・病院とリンクしているため、患者さんへコソコソアプロ-チをかいていく。
- ・宅配担当を行っている、包括センターより、困難な方への見守りフローを行っている。
- ・クライアントが望む事に対して、専向職と地域の連携作りが大切になる。

・小規模を境中心にあって、行う事。

- ・サ-ビスは、咲くしめる事業所として、専向職として、ちりし配布や学習にのって、地域とコミュニティを取っていく必要がある。

~今後の取り組みについて~

- ・ITアプロ-チなどの業種は、地域との連携が必要。
- ・地域でそのクライアントを見守る環境作りをしていく。コミュニティ作りを行い、安心してくらす地域作りが必要。
- ・障害に対して、インけんなどをこくふくあるために何が大切かを会議していく。
- ・町内会でも認知ケアなどを開きして、決ま、た方となり、又、送り迎えがとくと出来る方がいるが、地域には、町内会や老人会など、コミュニティが広がる。
- ・制度について、咲くしめる必要がある。その方のニーズに答えるために。



# 第43回例会

## 7 グループ

- 介護職が不足している → 地域の方とのつながりと、専門職が間に入ってつなげていく、必要性の重要性を痛感しました。
- 行政も加えて、いかないと、進まない率もある。
- 地域とつながりの少ない方もいるので、これからの課題

〈生活支援 - デイサービス - の仕事とは...〉

とつなぐ近所の関係がみつらくなっている。その方々をみつけて専門職につなげていく、仕事

・ サービス拒否の方と少しでもサービスにつなげていく。

お金とか

◦ お金をかけたい、うまいた資源を活用していくと良いのか... (有料ボランティア)

◦ 施設はいっぱい → 地域で看っていく、必要性はここから重要

◦ 独居、ひとり暮らしをどうしていくかも課題

◦ 事業所としては利益がちゃんと運営できている、... 利害ばかりにならないう様、行政をまきこんでいかないと...

◦ 地域の方の眼は早期発見に重要... 支援あり。

◦ 民生委員さん1人で多くの方を見ている、... 地域のおせっかいおばさんは必要

◦ 24時間 365日なので、いろいろな方に関わると、長く続かない。

◦ 男性は、なかなか出てこない、よき相手の、ま、シブシブの相手のボランティアは良いですね。

→ 男性の活やくできる場、特長を生かせる場を、提供するとよいのでは!

① ①について講演を受けて。

- 地域住民の参加、連携が「大切と感じた」。
- ふれあいサロン、カキ「あず」かり事業、安心生活サポート、民間企業を借り壁の高せ。
- 身当たりと「さ」で「た」が「り」、地域力を高めていくことが「必要と感じた」。地域の「視点」から見るとまた違うやり方が「あるのでは」。
- 施設と地域は連携が「少ない」。
- 社協、包み手の活動の重要性  
町内会活動に目を向けていかないと。

② 何をしたいか、どこで「地域力」が「進む」か、

- 何が「困」っているかを把握すること  
草取りや介護サービス以外の視点で「考える」。
- 専門職の中で「進めたい」  
地域の方の取り組みも考える
- 急な「打ち手」や「人」で「不安」な人の

- ボランティアの活動により  
中心感を持ってもらう。
- 顔の見える関係作り。  
(民生、町内会と)

・講演を受けて学ぶこと、気づくことが出来た点について。

- ・ ~~地域~~ ~ 地域'のことがあまりわからない。地域'に出向いていかねばならないと思う。地域'づくりといっても、誰が主としてやっていくのか。
- ・ 地域'づくりは、個別ケアと同じ考えと思う。信頼関係が大切であり、本気度を言われているとなると仕事上での関わりと思われてしまうことは気をつけなければならぬ事。自分が地域'の方の立場だったら同じ目で見るとどう。「巻きこむ」「ふる」などの言動は良くないと思うので気を付けていきたい。
- ・ 地域'との関わりが、少ない中で、地域'全体で支えるというのはとても理想。困っている利用者にとって地域'でつながっていると、とても且かかると思う。
- ・ 自宅でケアマネをしている。近所の方に時々話しかけられることもあり、~~潜在的な~~「潜在的なニーズ'があるのかな?」と思う。関心を持ってくれるだけでもすごいことであり、そこから少しずつ関係づくりをしていき、地域'づくりができれば良いと思う。

・ 今から取り組めること、今後取り組んでほしいこと。

- ・ 自分のまわりにいる支えてくれる関係をお互いに知り、協力していく。
- ・ 苦小牧は、地域'食堂やサロ=など'色々行っている。自分のエリアくらいは知っておきたい。
- ・ 居宅のCMとしては、  
独居の方で、ご本人の了解が得られれば、まわり近所の支援ということを取り入れていきたい。  
近所の方の中にはFα以上に色々情報を持っている方もいる、色々発見してくれる存在でもある。  
そのような支援があれば、見守り等支援につなげられ、また情報共有もできるので、と思う。



◎家方矢野友きの地域ケア会議に参加することがあるが、家族が遠いこともあり、近所通しの関係が大切と感じる。家族不在に慣れる必要もあるのかもしれない。

◎町内会によって体制に差がある。かかわりの弱い町内会にどうやってアプローチするか考えていきたい。

◎利用者を取りまくまわりとの付き合い(連携)づくりが難しいと感じることがある。取りまく近隣とかかわることができるといいと思うが、そこまでの時間をとるのが難しい。又、踏み込んでいいのか考えると重かけなくなる。

◎近所の人をよく見ている。知っていると感じるでき事があつた。家から出てこない、人と付き合いがないと聞いていたが、<sup>実は</sup>見守ってくれる人がいた。そういう情報が大切。

◎転勤族が多く、おせっかいおばちゃんが少ない？  
土地柄もあるのかもしれない。

◎サービスに関係なく資質を委ねる機会があるといい。  
そのきっかけが難しい。



包括がその役割となるといいのでは。

◎民生委員と連携していけるといいと思う。

民生委員 ↔ CM 相方で共有できるようにしていけたらいいと思う

◎近所に刃刺を画すること何かあったら連絡もらえるようにしておくのも一つの見守りだと思う。

思い切ってキヤイ4を鳴らす勇気を持っていきたい。

◎積極的にかかわっていけたらよい。

CM さんからの声

◎CM連絡会から市に対して声を上げていくことができればよいと思う